

氏名	加藤 美砂子 KATO Misako
所属 職名	人間文化創成科学研究科自然・応用科学系 教授
学位	理学博士（1988 東京大学）
専門分野	植物生理学
URL	
E-mail	kato.misako@ocha.ac.jp

研究者キーワード / Keywords

植物
二次代謝
カフェイン
プリンアルカロイド
微細藻類

plant
secondary metabolism
caffeine
purine alkaloid
microalage

主要業績

Satoh, A., Kato, M., Yamato, K., Ishibashi, M., Sekiguchi, H., Kurano, N. and Miyachi, S. Characterization of the lipid accumulation in a new microalgal species, *Pseudochorycystis ellipsoidea* (Trebouxiophyceae). *J. Jpn. Inst. Energy* (2010) 89:909-913.

Ashihara, H., Kato, M. and Crozier, A. Distribution, biosynthesis and catabolism of methylxanthines in plants. In *Methylxanthines*. Edited by Fredholm, B.B. (2010) 11-31. Springer.

研究内容 / Research Pursuits

(1) 植物のカフェイン生合成に関与するN-メチルトランスフェラーゼ(NMT)に関する研究を行っている。カフェイン生合成系を制御するNMT遺伝子を単離し、その発現調節機構を調べるとともに、植物におけるNMT遺伝子の多様性から二次代謝に関与するNMTの機能と進化を研究している。また、カフェインは細胞の中の液胞に蓄積されるので、カフェインの細胞内輸送メカニズムの研究も行っている。(2) 炭化水素を蓄積する微細藻類の炭化水素生合成調節機構を研究している。炭化水素生合成に関する基礎的な知見を得るだけでなく、炭化水素生産まで視野に入れた研究を行っている。(3) 藻類の有用テルペノイド化合物の生合成経路の解明を目的とした研究を行っている。

(1) We investigate the structure and function of N-methyltransferase involved in caffeine biosynthesis. The regulation in the expression of NMT genes isolated by our laboratory and the diversity of NMT genes are examined to clarify the contribution of N

■ 教育内容 / Educational Pursuits

2年生の必修科目である代謝生物学IIを担当した。植物の代謝調節の基礎的な事項を解説した。3年生対象の選択科目である植物生理学ではさらに進んで植物生理学の最新の知見と共に実用化をめざした応用研究の現状を解説している。3年生の選択科目である代謝生物学実習を担当し、植物を材料とした代謝生物学実験の指導を行った。生物学科以外の学生を対象とした基礎生物学Aの1単位分を担当した。受講者の多くは、理科の教員免許の取得をめざす学生である。植物の代謝および植物ホルモンの作用について解説した。

The aim of the undergraduate program in metabolic biology II is to understand the basic mechanism of plants. I lecture on the hot results and the application in the field of plant bioscience in plant physiological engineering. In addition, I hold the lec

■ 研究計画

高等植物の二次代謝におけるメチルトランスフェラーゼの多様性に関してその機能と分子進化の研究を進める。藻類特有のテルペノイド化合物の代謝系の制御と分化について研究を進める。

■ メッセージ

地球のすべての生命は、生産者である植物に依存しています。植物の秘密を解き明かすことは、地球の未来を考えることにもつながっていきます。